

スピーカーセレクト

品番WK-330

取扱説明書
(工事説明付)

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。



保証書別添付

このたびは、パナソニックスピーカーセレクトをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

上手に使って上手に節電

もくじ

取扱説明		●工事説明	
概要	2	設置上のご注意	6
使用上のご注意	2	接続のしかた	6
各部の名前と働き	3	■端子カバーの外しかた	6
■前面	3	■スピーカの接続のしかた	6
■後面	4	■ハイパワーアンプの接続のしかた	8
使いかた	5	■増設のしかた	9
故障と思われましたら	5	■コードクランプのしかた	10
		スタッキングのしかた	10
		ラックマウントのしかた	11
		ブロックダイヤグラム	11
		定格・付属品	裏表紙
		アフターサービスについて	裏表紙

概要

本機は、ハイパワーアンプ(WA-900シリーズ)のオプションユニットとして、スピーカ回線の増設に使用するリレーボックスユニットです。

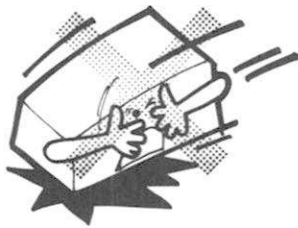
- スピーカ出力5回線(3線式配線)の選択ができ、1回線あたり最大120Wまで接続できます。(合計最大W数120W)
- スピーカ選択スイッチを押すと放送回線が選択され、表示灯が点灯します。
- キーロックスイッチにより、スピーカ選択スイッチの動作をロックできます。
- 最大3台まで増設できます。(ユニットごとにユニットNo.の設定が必要。)

使用上のご注意

- 雨や水がかからないように
内部に水やほこりが入ると故障や事故の原因となります。



- 取り扱いはいねいに
落下させたり、強い衝撃や震動を与えますと、故障や事故の原因となります。



- 内部には触れないで
内部に触れると感電や故障の原因となります。



- 使用温度範囲は
-10℃～+50℃
-10℃以下の寒い所や+50℃以上の暑い所では内部の部品に悪影響を与えます。



- 本機に異常があるときは
使用中に突然音が出なくなったなどの異常を生じた場合はすぐに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。



- 異物をいれない
本機の内部に縫い針、ヘアピン、硬貨などの金属物があると感電や故障の原因となります。



- 必ずAC100Vで
ご使用ください
50/60Hzどちらでも使えます。



- お手入れは
電源プラグを抜き、うすめた台所用洗剤を布に浸み込ませて、よくしぼって軽くふいてください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけたりしないでください。



取扱説明書 安全編

ご使用前に、この取扱説明書(安全編)と別冊の取扱説明書をお読みのうえ、
正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

電源コードを熱器具に近づけない



コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。

禁止

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

- 抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない



重いものをのせたり、はさんだりするとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

- 修理は販売店にご連絡ください。

注意

通風孔をふさがない



内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁止

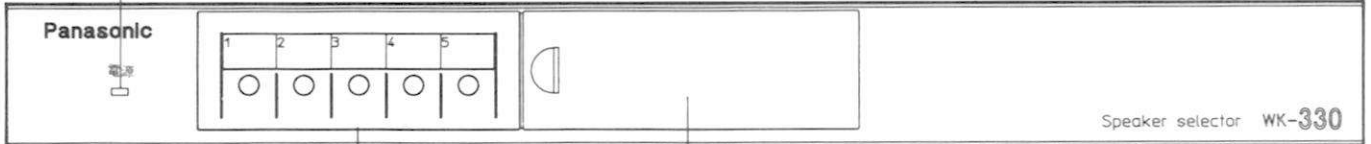
松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

各部の名前と働き

■前面

電源表示灯〔電源〕

- 電源が入ると点灯します。
ハイパワーアンプとの接続不良などで異常が発生した場合、3秒間点滅し異常の表示を行います。
- 本機単体設置時
電源が入ると3秒間点滅してから点灯します。



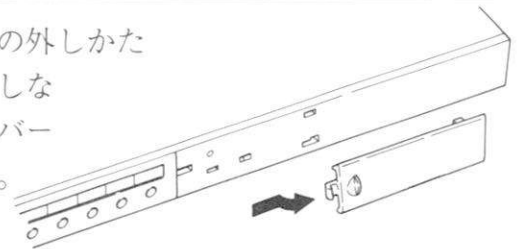
スピーカ選択スイッチ〔1,2,3,4,5〕

放送回線(1~5)を選択するスイッチおよび回線表示灯です。

- 放送したい回線(1~5)のスイッチを押すと放送でき、緑色の表示灯が点灯します。もう一度押すと放送が切れます。
- ハイパワーアンプやリモコンマイクにより放送回線が選択された場合、対応するスイッチの表示灯が点灯し、放送されます。

スイッチカバー

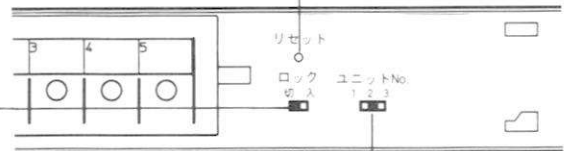
- スイッチカバーの外しかた
矢印の方向に押しながらかスイッチカバーを取り外します。



リセットスイッチ〔リセット〕

異常な動作をしたとき、内蔵されているCPUをリセット(初期化)します。リセットする場合、先の尖ったものでこのスイッチを押してください。

スイッチカバーを外した状態



キーロックスイッチ〔ロック切/入〕

スピーカ選択スイッチを不用意に操作されないよう、スピーカ選択スイッチの動作をロックできます。

入：スピーカ選択スイッチを押しても放送回線の選択ができません。

切：スピーカ選択スイッチで放送回線の選択ができます。

ユニットNo. 設定スイッチ〔ユニットNo. 1,2,3〕

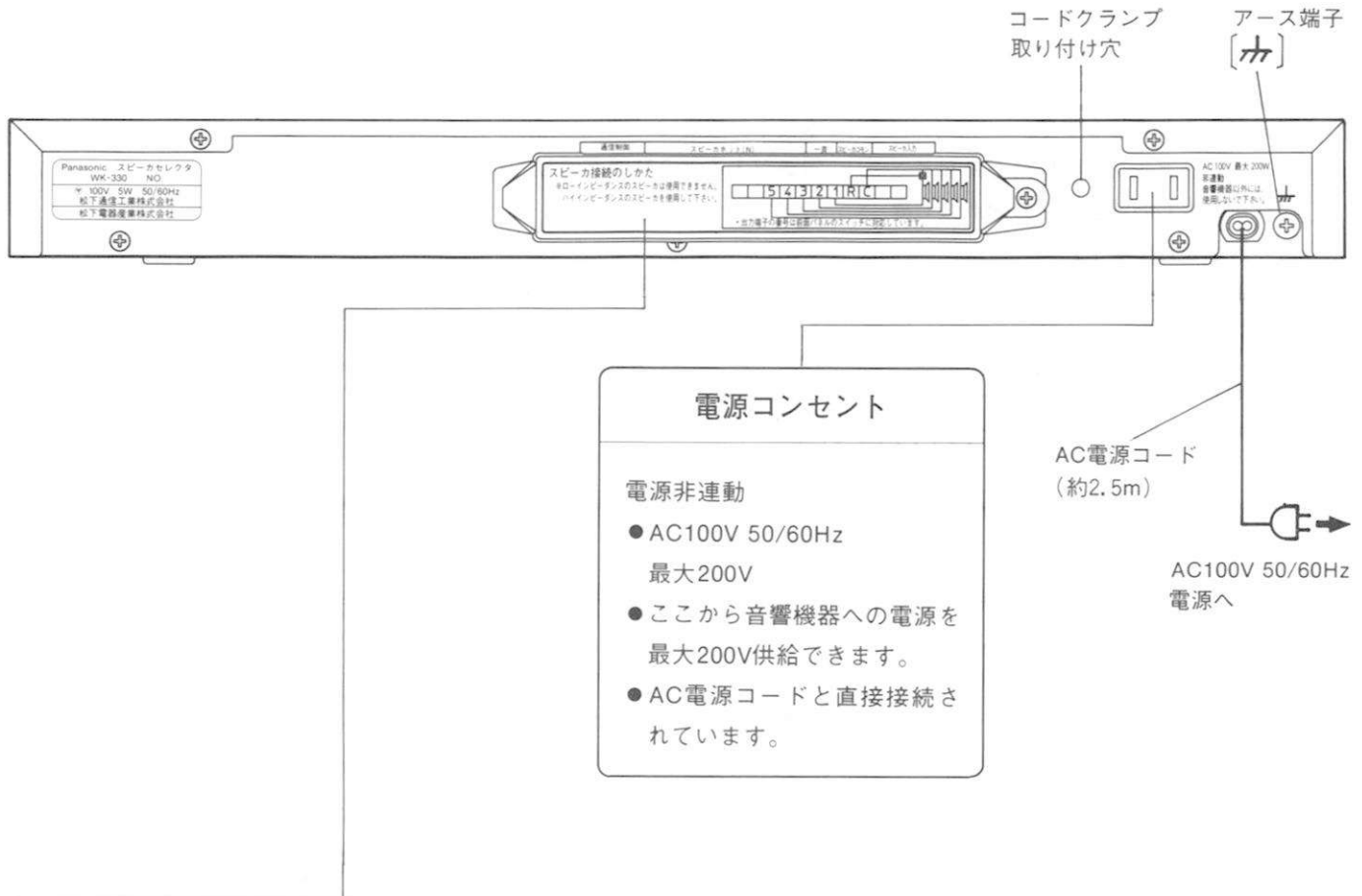
本機を増設する場合、ユニット番号を「1」～「3」に切り換えて使用します。

工場出荷時(初期設定)は、「1」にセットされています。

- 9ページ「増設のしかた」をごらんください

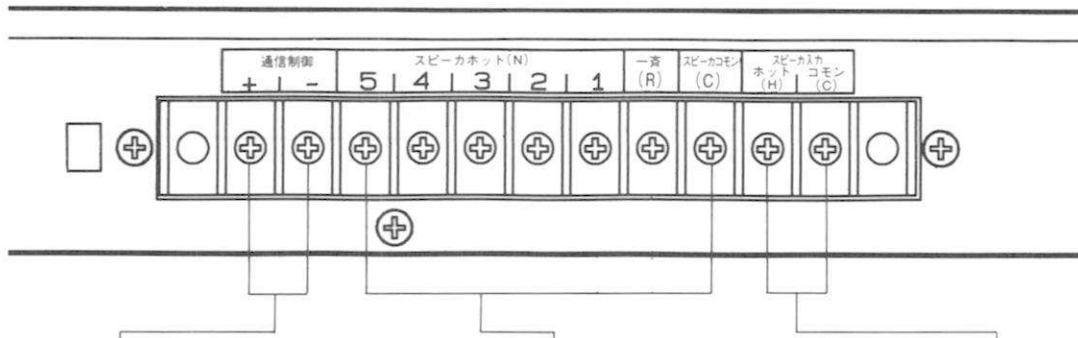
各部の名前と働き

■後面



接 続 端 子

- 端子カバーの外しかたは、6 ページ「端子カバーの外しかた」をごらんください。
端子カバーを外した状態



通信制御〔通信制御+, -〕

本端子とハイパワーアンプの通信制御端子を接続します。

- 接続は 8 ページ「ハイパワーアンプの接続のしかた」をごらんください。

スピーカ接続端子

〔スピーカホット(N)、一斉(R)、スピーカコモン(C)〕

スピーカ線を接続します。

- 接続は 6～8 ページ「スピーカの接続のしかた」をごらんください。

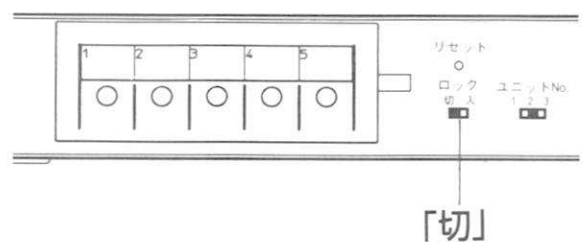
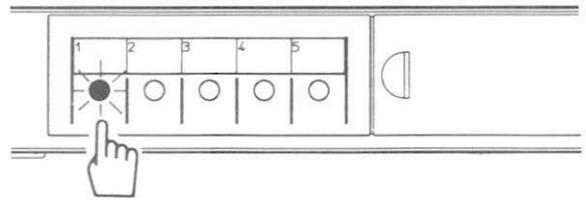
スピーカ入力端子〔スピーカ入力〕

ハイパワーアンプまたは増設アンプ(WA-900シリーズ)のスピーカ出力端子と接続します。

- 接続は 8 ページ「ハイパワーアンプの接続のしかた」をごらんください。

使いかた

1. ハイパワーアンプの電源を入れます。
2. 放送したい回線のスピーカ選択スイッチ(1～5)を押します。押されたスイッチの表示灯が点灯します。
3. ハイパワーアンプから放送します。
4. 放送が終わったらスピーカ選択スイッチをもう一度押します。その回線が「切」となり、表示灯が消えます。
 - リモコンマイクで放送中は、リモコンマイクで選択したスピーカ選択スイッチの表示灯が点灯して、放送中であることを示します。
 - キーロックスイッチが「入」になっていると本機で放送回線の選択ができません。本機で選択するときは、キーロックスイッチを「切」に切り換えてください。
 - 本機を単体で使用するときには、電源スイッチがないので電源の入/切はできません。電源を切るときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



故障と思われましたら

症 状	点 検 項 目	処 置
スピーカ選択スイッチを押しても、放送できない	通信制御線が正しく接続されていますか。(8ページ)	通信制御線の極性(+,-)を合わせて接続します。
	キーロックスイッチが「入」になっていませんか。	キーロックスイッチを「切」に切り換えてください。
電源表示灯が点灯しない。	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	もし抜けていたら、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	通信制御線が正しく接続されていますか。(8ページ)	通信制御線の極性(+,-)を合わせて接続します。
	ハイパワーアンプ(WA-900シリーズ)の電源が入っていますか。	ハイパワーアンプ(WA-900シリーズ)の電源を入れてください。
電源表示灯が点滅する。	通信制御線が正しく接続されていますか。(8ページ)	通信制御線の極性(+,-)を合わせて接続します。
	本機を増設したとき、ユニットNo. 設定スイッチの番号が他のセレクトの番号と重複していませんか。(9ページ)	各セレクトのユニットNo. 設定スイッチの番号を、違う番号に設定してください。

設置上のご注意

- 電源は、AC100V 50/60Hz電源をご使用ください。
- アース端子 [GND] は必ず接地してください。ガス管には危険ですから絶対に接続しないでください。(アースしないと発振したり、故障の原因となることがあります。)
- スピーカ線を接続するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ローインピーダンス(4Ω, 8Ω, 16Ω)スピーカは接続できません。必ずハイインピーダンスのスピーカをお使いください。
- スピーカの合成インピーダンスが、アンプの負荷インピーダンスより小さくならないようにご注意ください。
- スピーカに加わる合計入力(W)が、アンプの定格出力以下となるようにしてください。
- スピーカ接続端子には、5回線あるいは1回線あたり合計最大W数120Wまで接続できます。
- 複数のスピーカを同じ回線のスピーカ端子に接続する場合は、必ずスピーカの極性(+, -)を合わせてください。

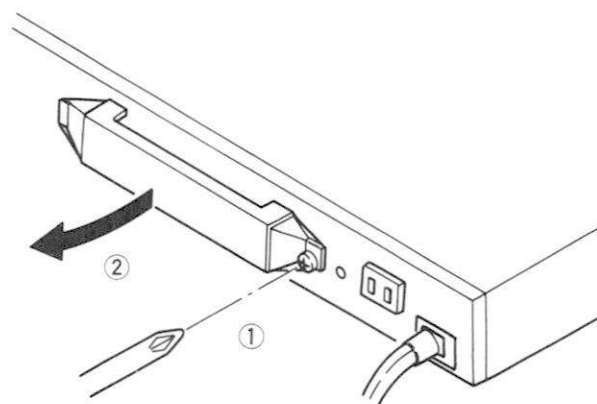
接続のしかた

■端子カバーの外しかた

ご注意

端子カバーを外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、工事後は必ず端子カバーを取り付けてください。

- ①端子カバーを固定しているねじ1本をゆるめます。
- ②矢印のように端子カバーを外します。



■スピーカの接続のしかた

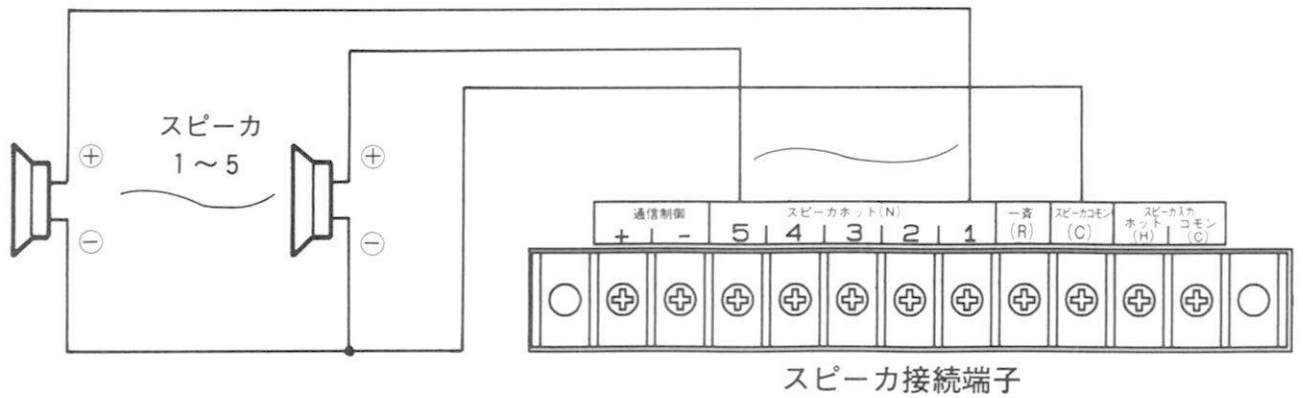
●本機とスピーカ間の延長可能な距離

スピーカ配線の線径	φ 1.0 mm	φ 1.2 mm	φ 1.6 mm	φ 2.0 mm	φ 2.6 mm
30Wのアンプ	700m	1100m	1900m	3000m	5000m
60Wのアンプ	350m	560m	1000m	1500m	2600m
120Wのアンプ	180m	280m	500m	770m	1300m

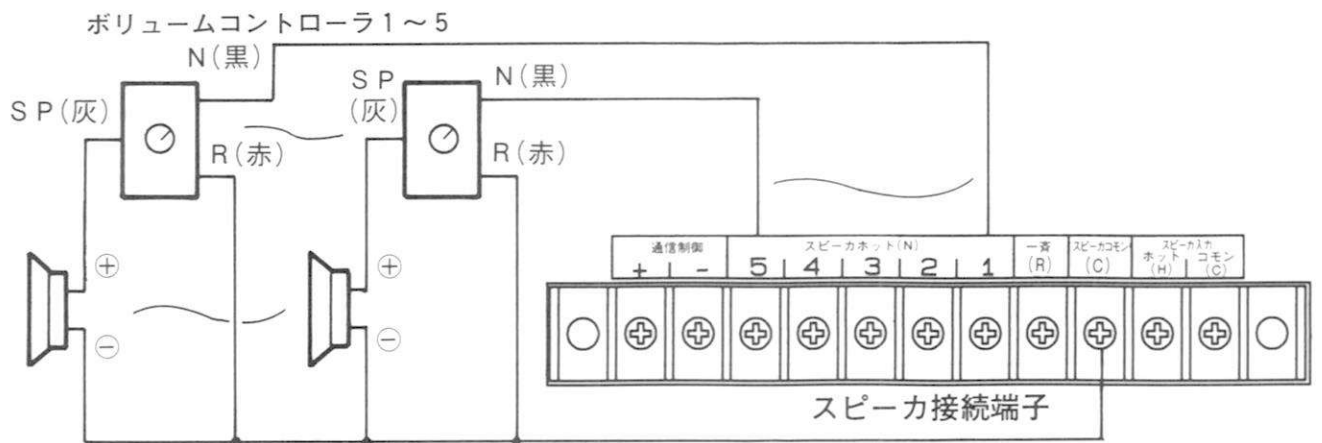
この表は配線線路のループ抵抗がアンプの負荷インピーダンスの10%になる距離のめやすです。

接続のしかた

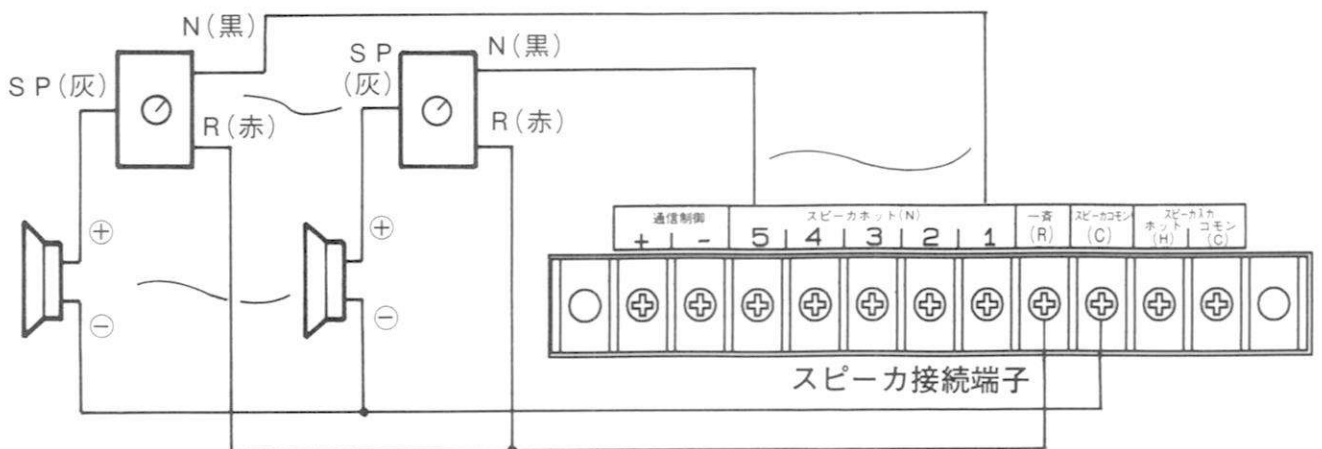
● 2線式接続のしかた



● 2線式(ボリュームコントローラ付)接続のしかた

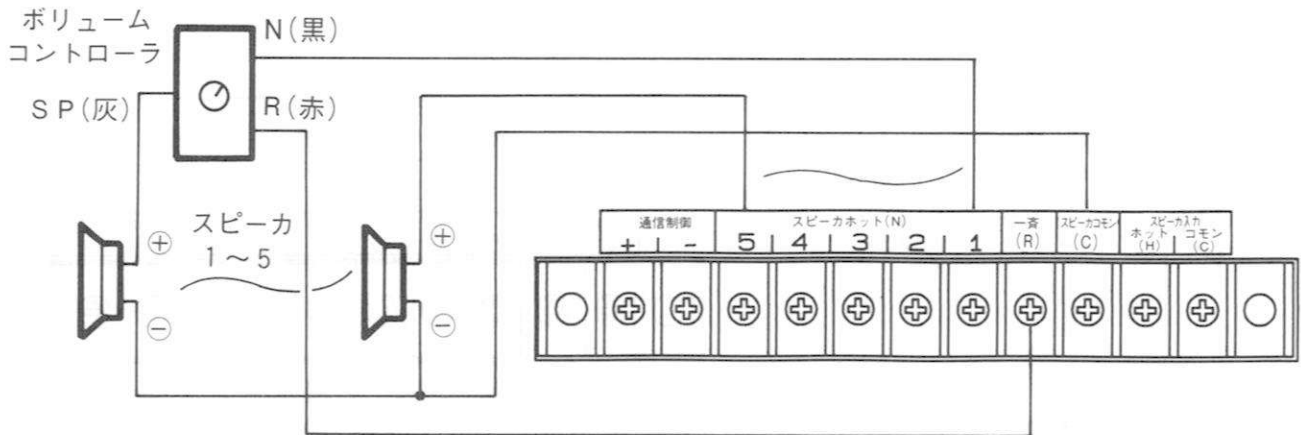


● 3線式(ボリュームコントローラ付)接続のしかた



接続のしかた

● 2線式と3線式の併用接続のしかた

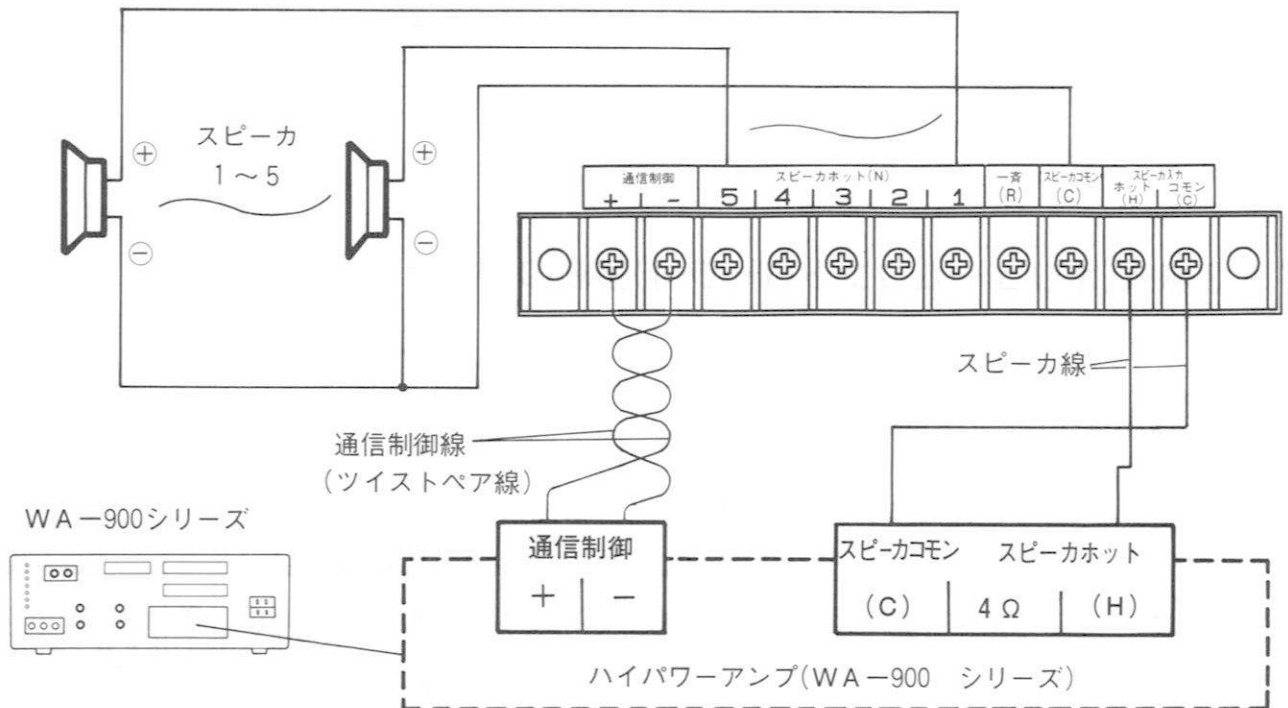


■ ハイパワーアンプの接続のしかた

ハイパワーアンプ(WA-910, 920, 930, 915, 925, 935, 950)を接続するには、スピーカ出力端子と共に、本機をコントロールするための通信制御端子の接続を行ってください。

ご注意

通信制御端子の「+」「-」を間違えて接続しないようご注意ください。



● 通信制御線の延長可能な距離(最大延長距離は500m)

距離	200m以下	500m以下
通信制御線	φ 0.65mm以上	φ 1.0mm以上

■増設のしかた

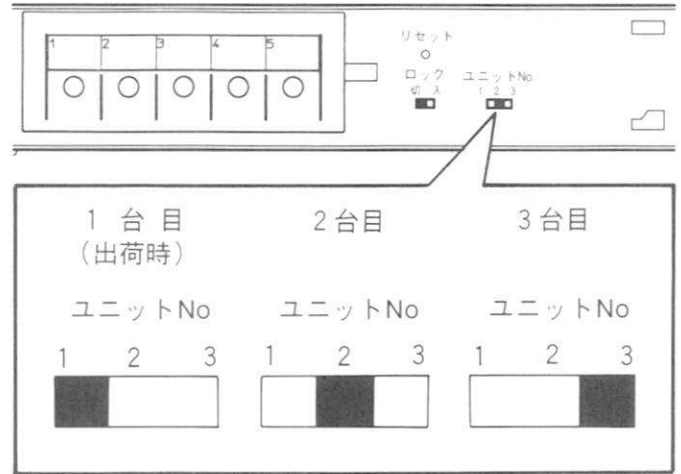
- 本機は最大3台(ハイパワーアンプ5回線を含め合計20回線)まで増設できます。

増設する際、増設ユニットのユニット番号を設定してください。

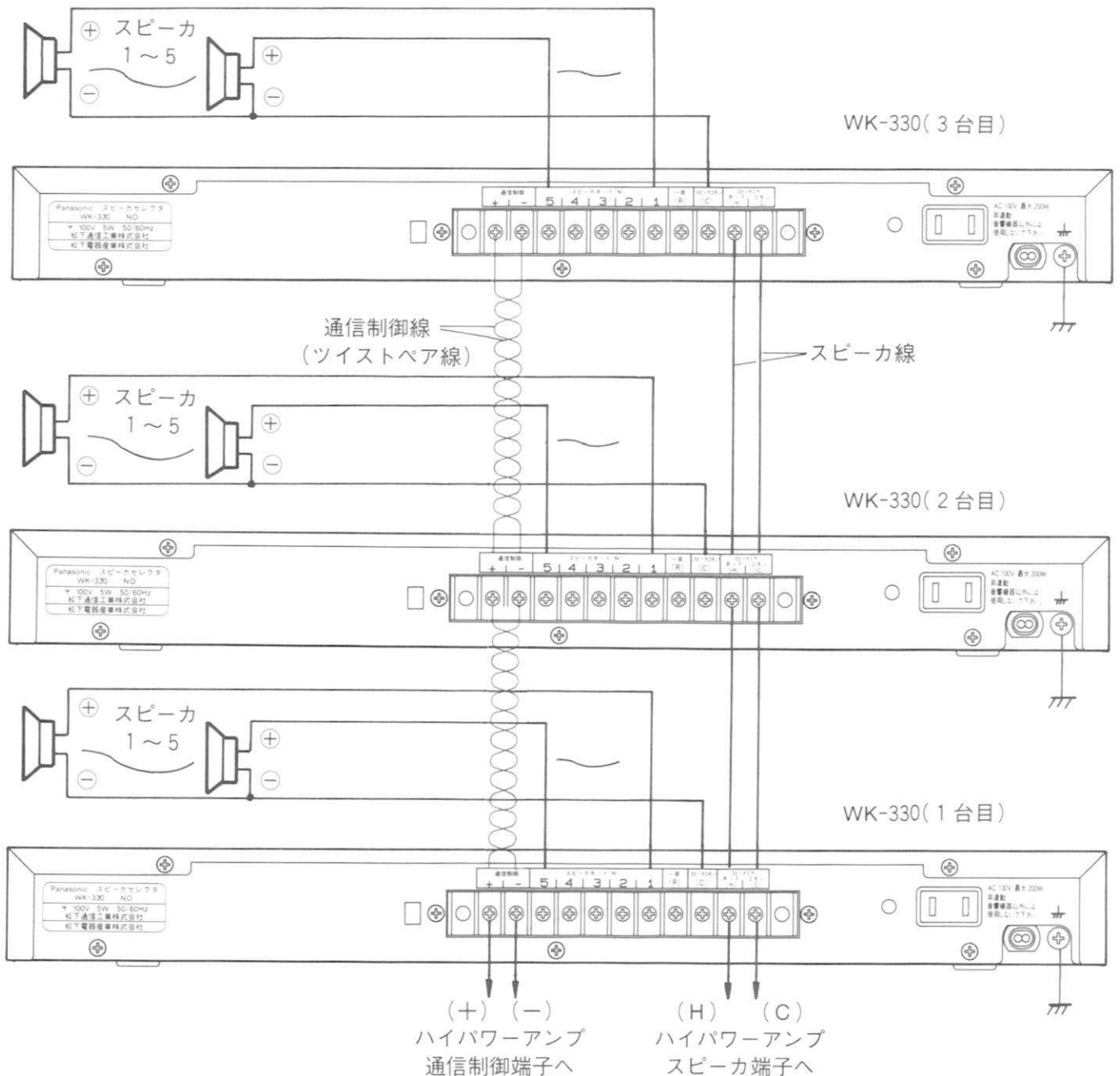
- ユニット番号の設定のしかた

前面パネルスイッチカバー内のユニットNo. 設定スイッチを、1台目のユニットは「1」、2台目は「2」、3台目は「3」に切り換えてください。

その後、リセットスイッチを押してください。



- 接続例(3台増設時)

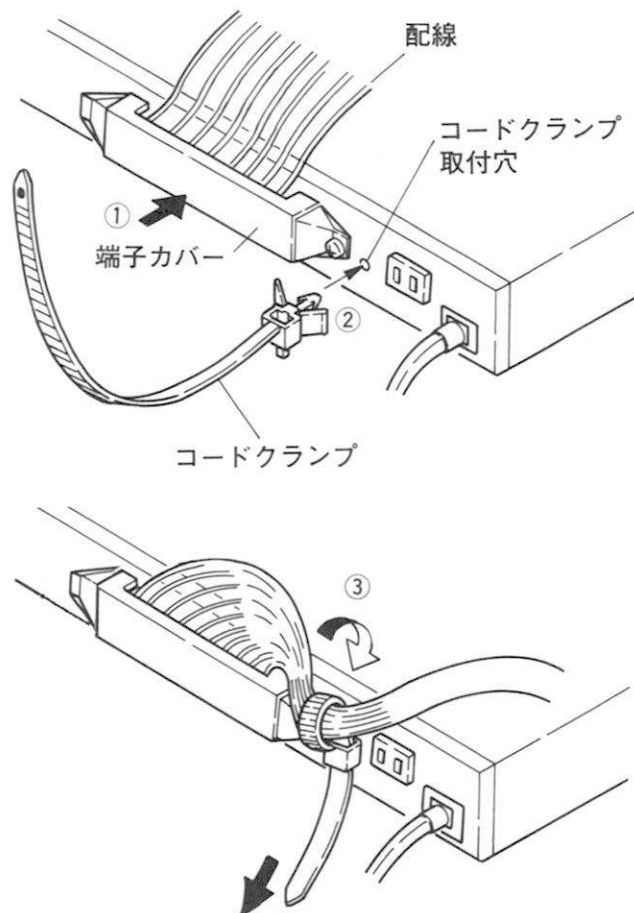


接続のしかた

■コードクランプのしかた

- ①配線が上に出るように接続して、端子カバーをもとどおり取り付けます。
 - ②付属のコードクランプを、コードクランプ取り付け穴に押し込んで固定します。
- 注)コードクランプは右図の様に取り付けます。(逆向きに取り付けないようにしてください。)

- ③線材をまとめてクランプします。



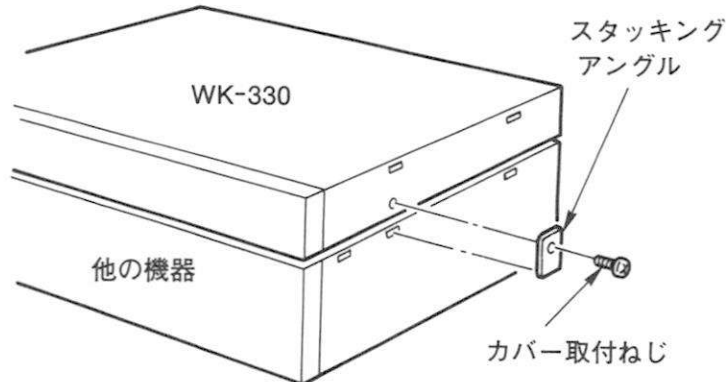
スタッキングのしかた

本機は他の機器（ハイパワーアンプなど）の上にスタッキングしてください。スタッキングするには、スタッキングアングル（本機に付属）で本機と他の機器を固定します。

- ①本機の両側面のカバー取付ねじ（M4×10）を外します。
- ②本機と他の機器の間にスタッキングアングルを取り付け、外したカバー取付ねじで固定します。

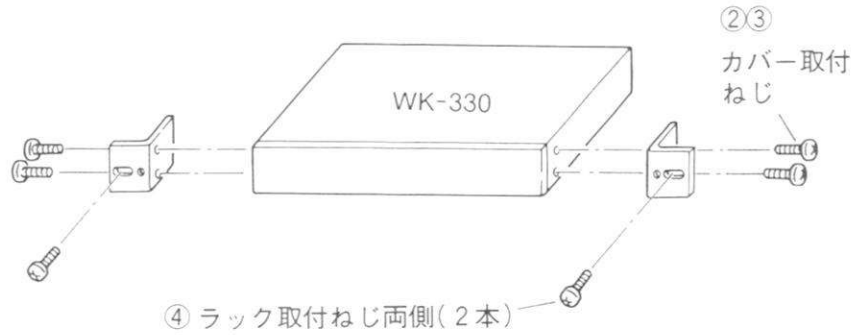
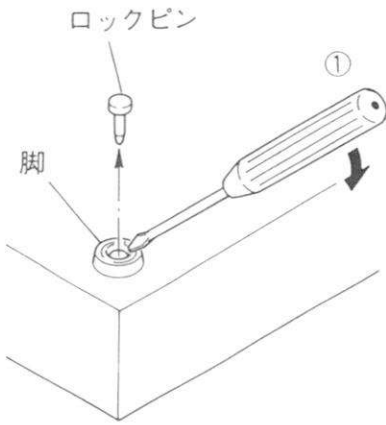
ご注意

スタッキングしたまま上側の機器を持ち上げないでください。機器を移動するときは、スタッキングを外すか、全体を持ちあげてください。



ラックマウントのしかた

- ①図のように、細めのドライバーを使って脚部のロックピンを抜き取り、脚を取り外します。
- ②本機両側面のカバー取付ねじ(M4)を外します。
- ③ラックアングル(別売)を、外したカバー取付ねじで本体両側面に取り付けます。
- ④ラックに取り付けます。(EIA規格相当のラックにマウントすることができます。)

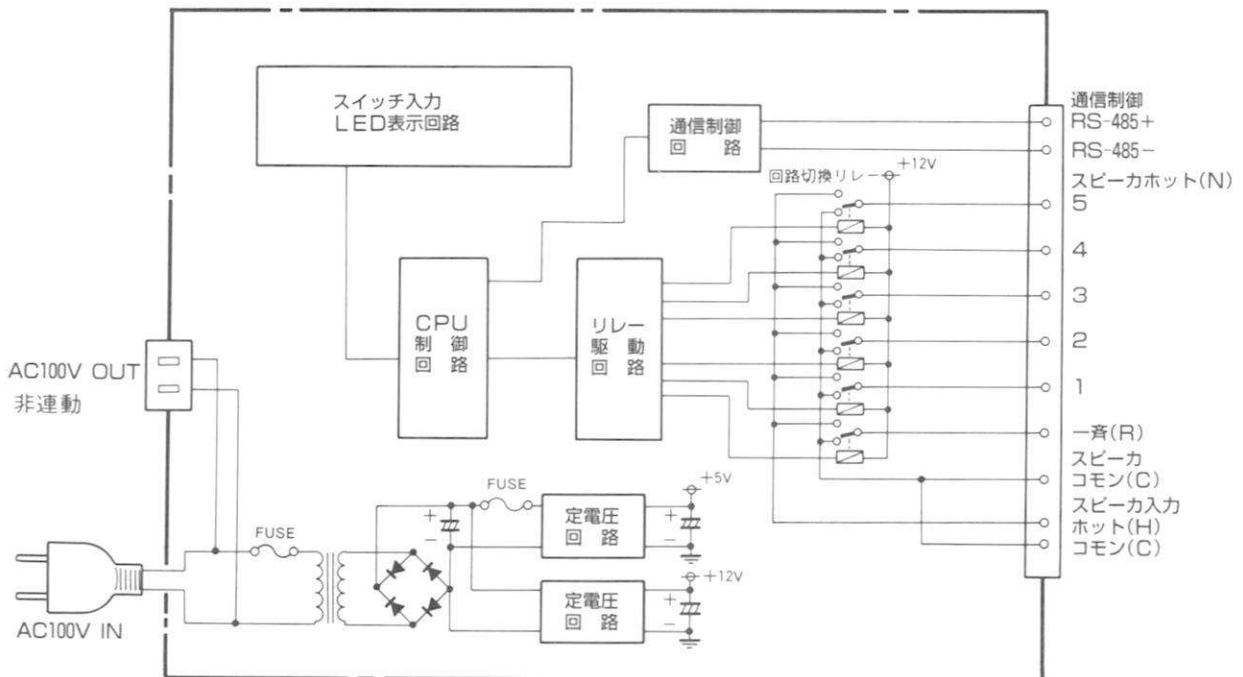


別売品：ラックアングル 品番 W2-LAW/A44×2ヶ
ラック取付ねじ 品番 W2-MSS/5008

ご注意

ラックへの設置時は、上下の機器の発熱量に注意し、通風や換気を良くしてください。

ブロックダイヤグラム



定格・付属品

■定格

電源：AC100V 50/60Hz

消費電力：約5W

スピーカ入力：1系統

スピーカ出力：5回線

1回線あたり最大W数：120W

合計最大W数：120W

回線表示灯：5ケ(緑)

通信制御方式：RS-485

周囲温度：-10℃～+50℃

寸法：420(幅)×46(高さ)×250(奥行)mm

(高さはゴム足2mmを含む)

1U

質量(重量)：約3kg

仕上げ：パネル：AVアイボリーアルミ塗装

(マンセル 7.9Y 6.8/0.8 近似色)

ケース：AVアイボリー塗装網板

■付属品

コードクランプ..... 2

スタッキングアングル..... 2

アフターサービスについて

1. 保証書 (別に添付してあります。)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

保証期間.....お買い上げ日から1年間です。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理させていただきます。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。

ご連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日(保証書をご覧ください。)
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をいたします。

3. アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ年月日	年	月	日	品番	WK-330
販売店名				電話()	—
最寄りの当社ご相談窓口				電話()	—

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)